

豊岡市子ども読書活動推進計画

平成26年6月

豊岡市教育委員会

は じ め に

豊岡市教育委員会では、「豊岡の子どもは豊岡の力で育てる」という視点に立ち、豊岡からできる教育、豊岡の責任で取り組む必要のある教育を進めることを目的に、本市独自の教育行動計画を策定し、平成18年度から子どもたちを育むための具体的な取組を学校園・家庭・地域・行政において実践してきました。

平成22年3月にこれまでの成果と課題を踏まえ、基本理念を「子どもたちが生涯にわたって生き生きと輝く教育をめざして」とした教育行動計画の見直しを行いました。めざす子ども像を「豊かな心、健やかな体、確かな学力を身につけた子ども」とし、子どもの育ちを一本の木にたとえた乳幼児期の「根っこづくり」、小・中学生期の「幹づくり」、子育てを支える家庭・地域の取組である「土づくり」など、系統的で継続的な取組を行っています。

この教育行動計画の「めざす子ども像」の実現において、「読書」の果たす役割は大きなものがあり、ここに「豊岡市子ども読書活動推進計画」を策定し、その実現をめざすことにしました。

国においては、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に「策定するよう努めなければならない」と努力目標として謳われており、県においても平成21年9月に「第2次ひょうご子どもの読書活動推進計画」が策定されました。

子どもにとって読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力や考える力を豊かなものとし、人生をより深く魅力的なものにしていく上で欠くことのできないものです。豊岡市の子どもたち一人ひとりに読書の種をまき、「豊かな心、健やかな体、確かな学力を身につけた豊岡の子どもづくり」を進めてまいります。

平成26年6月

豊岡市教育委員会

目 次

第1章 基本方針	1
1 計画の目的		
2 計画の期間		
3 計画の対象		
4 計画の目標		
第2章 推進のための具体的な取組	2
1 家庭で	2
2 地域で	3
3 保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校で	4
4 図書館で	7
第3章 推進のための連携・協力	11
1 学校・家庭・地域・行政の連携・協力		
2 広報・啓発活動等の推進		

第 1 章 基本方針

1 計画の目的

子どもたちが自然豊かな豊岡市を誇りに思い、生涯にわたって生き生きと輝くために策定された「豊岡市教育行動計画」を補完し、「子どもの読書活動の推進に関する法律（平成 13 年法律第 154 号）」の基本理念に則り、「豊かな心」、「健やかな体」、「確かな学力」といった「生きる力」を身につけた豊岡の子どもを育むため、「豊岡市子どもの読書推進計画」を策定する。

2 計画の対象

0 歳～15 歳

3 計画の期間

平成 26 年度～平成 28 年度（3 年間）

但し、豊岡市教育行動計画等の改定に併せ、随時改定できることとする。

4 計画の目標

【乳幼児期】

言葉に対する信頼感を高め、コミュニケーション能力の基礎を培う。

【小学生期】

目的に応じて本を選び、共感や感動が得られる本に接する機会と読書習慣を身につけ、「豊かな心」を育む。

【中学生期】

読書の質や幅、読書を通してものの見方や考え方を広げ、「生きる力」を育む。

5 計画策定の考え方と進め方

(1) 豊岡市が既に実施している「子どもの読書推進活動（事業）」を豊岡市教育行動計画の項目ごとにまとめ、＜具体的な推進アクション＞を点検し、推進内容と効果を検証していく。

(2) 子どもの読書推進の役割とその必要性について、関係機関や市民が共通認識を持つ。

(3) それに基づき、事業の充実・改廃、新たな事業、新たな連携をめざす。

(4) 当面 3 ヶ年の計画とし、教育行動計画や国県の動きに合わせて改定していく。

第2章 推進のための具体的な取組

1 家庭で（「土づくり」の取組）

- 豊かな感性や道徳性を高めるため、家庭での絵本の読み聞かせなどを推進します。

乳幼児期は心と体の基礎を育てる大事な時期で、この時期の経験や体験は、人の一生を支えていく生活習慣の大切な基盤となります。乳幼児期の心を育てるために、絵本との出会いはとても大切なことです。子どもは絵本を通して、様々な出来事や未知のことを経験していきます。図書館でのおはなし会や保育所等での絵本の読み聞かせの機会を通じて、家庭での読み聞かせの方法や絵本選びについての情報を提供する必要があります。

<具体的な推進アクション>

①ブックスタート

推進内容	・ 7カ月健診時に絵本のプレゼントと絵本の読み聞かせを実施します。
効果	・ 赤ちゃんが絵本と出会って親しみます。7カ月の頃は、現実と抽象を見分け始める時期といわれており、赤ちゃんにとって絵本を通して語りかけられる体験は、心と言葉の成長に大きな働きをもたらします。 ・ 子育て中の保護者が絵本選びのアドバイスを受け、読み聞かせの手法を学ぶことで、絵本への関心を高め、親子で絵本に親しむきっかけとなります。 ・ 保護者の心の豊かさの再発見につながり、赤ちゃんとの温かいコミュニケーション、心やすらぐ親子の時間のはじまりとなります。

* ブックスタート … 赤ちゃんの肌をぬくもりを感じながら言葉と心を通わす、かけがえのないひとときを「絵本」を介して持つことを応援する運動。豊岡市では健康増進課と図書館の連携事業として、7カ月健診時に実施。絵本をプレゼントし、読み聞かせの大切さやその方法を指導している。(H14年度から実施)

②すくすくメッセージ（マイナス1歳・3歳版）による絵本の読み聞かせの推進

推進内容	・ 母子手帳交付時に配布する「マイナス1歳からのすくすくメッセージ」で、ブックスタートやおはなし会などの図書館事業を紹介します。 ・ 3歳児健診時に配布する「3歳からのすくすくメッセージ」では、3～5歳児向けの推薦図書を紹介します。 ・ 子どもの育ちへの大人のかかわり方や、子どもの発達の特徴を踏まえた家庭での絵本の読み聞かせの意義を伝えていきます。
効果	・ 絵本に登場する絵やおはなしは、素直に子どもの心に飛び込んできます。絵本は子どもにいろいろな言葉を伝え、イメージを広げる力を与えます。この力は、3歳頃からはとても盛んになります。

* 絵本の読み聞かせ … 図書館や公民館、学校、家庭などで、乳幼児や小学校低学年児童に絵本などの読み聞かせを行うことにより、子どもの思考力、創造力、心の成長を促そうとするもの。近年では中学生への読み聞かせも増えてきている。

2 地域で（「土づくり」の取組）

○ 読書に親しむ子どもを育てるため、公民館等での図書館サービスの活用を推進します。

ブックスタート事業によって、子育て中の保護者が絵本に関心を持ったり、親子で絵本に親しむきっかけを作りますが、子育てセンターや公民館などにおいても、それぞれの役割のもとで連携して、家庭において子どもたちが読書に親しめるように働きかけていく必要があります。

子育てセンターでは、子育て広場に絵本のコーナーを設けて、訪れた親子が気軽に絵本に親しめるようにしているとともに、絵本の貸し出しも行っています。また、図書館や読み聞かせボランティアの協力を得て、定期的におはなし広場を開催し、絵本の読み聞かせも行っています。

公民館においては、全地区公民館に図書コーナーが設置されていますが、近年その機能が低下し、住民の読書離れが進み、公民館で本に親しむ機会が減少してきています。

<具体的な推進アクション>

①公民館での読書推進

推進内容	<ul style="list-style-type: none">・地区公民館の県民交流広場を利用し、図書コーナーの充実に努めます。・図書館の団体貸し出し事業を活用します。・公民館で本の読み聞かせを実施します。
効果	<ul style="list-style-type: none">・子どもが身近な場所で読書に親しむ機会が増えます。・子どもの積極的な読書活動意欲を高め、生涯にわたる読書習慣が身につきます。

②子育てセンターでの読書推進

推進内容	<ul style="list-style-type: none">・子育てセンターで、おはなし会や絵本の読み聞かせを実施します。・子育てセンターの毎月の行事の中で、子どもが絵本に親しめるように事業を計画します。・子育て講座で絵本の読み聞かせの楽しさを体験できる機会など、子どもの読書活動に関する内容を提供します。・親子で気軽によい絵本に親しめるように図書の充実に努めます。・とよおか子ども情報「すくすくタウン」を活用して、図書館等で行われている絵本の読み聞かせ事業等の情報を提供します。
効果	<ul style="list-style-type: none">・保護者の子どもの読書に対する興味や関心が高まります。・子どもの積極的な読書活動意欲を高め、生涯にわたる読書習慣が身につきます。

3 保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校で

(「根っこづくり・幹づくり」の取組)

- 自らを律しつつ他人を思いやる心、感動する心など、豊かな心を持った人間性の基礎を養うため、子どもの発達段階に応じた読書活動を推進します。
- 豊かな感性を育む読書活動の一層の充実を図ります。

保育所・認定こども園・幼稚園では、子どもたちが日常的に絵本に親しめるよう「絵本の部屋」や「絵本のコーナー」を設け、園児が自由に絵本に触れられるようにしています。

絵本の読み聞かせは、保育士や幼稚園教諭が子どもと触れ合う大切な時間でもあり、絵本を読んで欲しいという子どもの声にできるだけ応えるようにしています。

保育参観では、保護者に絵本の読み聞かせの様子を見ていただく機会を設けているほか、家庭への絵本の貸し出しも行っています。絵本の読み聞かせを通して、家庭での子どもとのふれあいの時間になっていますが、保護者の意識の差があるのが実状です。

また、保育所・認定こども園・幼稚園には、地域の子育て支援施設としての役割があることから、在宅の未就園児や保護者との交流機会を捉え、子どもが読書に親しめるような働きかけも必要です。

小学校・中学校における読書は、児童・生徒の知的活動を増進したり、情操を養うなど人間形成の上でも重要であり、児童・生徒の望ましい読書習慣の形成を図る必要があります。現在、各学校において、読書タイムや学校図書館ボランティアによる読み聞かせなどを導入しており、児童・生徒の読書習慣が定着しつつあります。しかしながら、全体での読書量は増えつつあるものの、読書好きと読書嫌いの二極化が見られるとともに、「読書の質」についても考えていく必要があります。

<具体的な推進アクション>

①保育所・認定こども園・幼稚園での読書推進

推進内容	<ul style="list-style-type: none">・乳幼児向けの絵本を充実させ、子どもたちが日常的に絵本と触れ合うきっかけづくりを進めます。・毎日の保育活動において、生活や遊びと関連づけた絵本や、園児の興味や発達段階に応じた絵本の読み聞かせを実施します。・園児が絵本等に興味を持つように、園外保育で図書館に出かけます。・保育士や幼稚園教諭の読み聞かせ技術の向上を図ります。・幼児用推薦図書や大型絵本などの充実を図ります。・絵本の部屋やコーナーなどの読書環境を充実します。・園だよりを通して、絵本の紹介を行うとともに園内での絵本の読み聞かせの様子を知らせ、保護者に絵本の読み聞かせの大切さを伝えます。・家庭での読み聞かせに取組んでもらうため、絵本の貸し出しを行います。・地域の子育て支援施設として、在宅の未就園児を対象に「おはなし会」を実施します。
------	--

効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせによって、子どもが絵本に親しみをもち、文字に興味や関心を示すとともに、ごっこ遊びや表現遊びに広がりが出てきます。また、情緒の安定や集中力が高まる効果も期待できます。
-----	---

②小・中学校での読書推進

推進内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊岡市教育行動計画のめざす子ども像」、「子ども読書活動推進に関する法律の基本理念」に則り、読書の楽しさを感じさせるため、下記に掲げるア～オの事業を展開します。 ・子どもたちが均等に読書の機会を得て、感性を磨き、想像力を育むことができるよう、全ての小・中学校で学校図書館図書標準の達成に取組み、読書環境の整備を推進します。 ・図書館、学校図書館ボランティアとの連携を強化し、意識の統一や資質向上を図るための研修・交流会を開催します。
効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書の学校図書館図書標準を達成することにより、児童・生徒の読書機会が充実します。 ・図書館や学校図書館ボランティアとの連携により、本との出会い、読書の楽しさを知る機会の充実が期待できます。

* 学校図書館図書標準 … 公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成5年3月に定めたもの（文部省初等中等教育局長通知）

ア 豊岡市幼児・児童・生徒向け推薦図書作成と活用

推進内容	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた読書活動の一層の推進と、学校、家庭、地域で読書活動に取り組む気運を更に高めるため、また子どもたちが最低限の共通の読書体験ができるように、「豊岡市幼児・児童・生徒向け推薦図書」を選定し、各学校に計画的に整備します。 ・推薦図書一覧表を作成し、全幼児・児童・生徒に配布するとともに、いつでも誰でも活用できるように、教育委員会及び図書館のホームページに公開します。また、一覧の本を読破した児童・生徒に対して表彰することで、読書の質の向上をめざします。 ・学校図書館ボランティア、読み聞かせボランティアの研修会等において情報を提供し、活動における推薦図書の活用を推奨します。
効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの図書の中から本を選ぶ際の指針となります。 ・児童・生徒が共通の既読図書をもつことで学習に役立ちます。 ・郷土に関する本によって、地域を知る機会となります。

イ チャレンジ！50（30）（フィフティ（サティ））の取組

推進内容	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが本に触れる機会をつくり、読書習慣の定着を図るため、積極的に「チャレンジ！50（30）」の取組を実施します。
効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が目標を持って、読書に取り組むことができます。 学校表彰を続けることで、全校生一丸となって読書活動を推進する気運を高めるとともに、継続することの大切さを児童・生徒に考えさせる機会となります。

* チャレンジ！50（30） … 各校での読書活動を一層推進するため、小学生で50冊、中学生で30冊を読破した児童・生徒について、教育委員会に申請することにより認定書を交付する制度。達成した児童・生徒が半数を超えた学校は学校表彰を行う。

ウ 学校図書館ボランティアの育成と活用

推進内容	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに、学校図書館ボランティア対象の研修会を開催します。 学校図書館ボランティアマニュアルを作成するなど、ボランティア活動への支援を充実します。 P T Aや保護者に協力を依頼し、図書の整理・修繕等のボランティア活動の充実に努めます。
効果	<ul style="list-style-type: none"> 年度初めに研修会を実施することで、ボランティアの抱える不安を取り除き、充実した活動につなげることができます。 図書館司書等を講師に招き、読み聞かせ等の技術を学ぶことで、ボランティアの技術の向上や意識の統一につながります。

エ 学校図書室での読書推進

推進内容	<ul style="list-style-type: none"> 読書推進に関わる備品などを充実し、図書室の整備を行います。 学校図書室へのコンピューター導入、蔵書のデータベース化を図るための調査・検討をすすめます。 司書教諭や学校図書館担当職員（いわゆる学校司書）配置に努めます。
効果	<ul style="list-style-type: none"> 図書管理、貸出業務の簡略化、図書室の利用促進につながります。

オ 図書館サービスの活用

推進内容	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の「おはなしキャラバン、講師派遣、団体貸出し」等の事業を積極的に活用し、図書館と連携しながら読書の推進を図ります。 図書館見学やトライやる・ウィークなどで、図書館の職場を体験します。
効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の、より多様な本やおはなしと出会う機会が増えます。 講師派遣事業は学校図書館ボランティアの活動支援につながります。 図書館の役割や仕事の内容を学ぶことができ、図書館に対する理解が深まり、図書館の活用促進につながります。

4 図書館で（「根っこづくり・幹づくり・土づくり」の取組）

○ 図書館サービスを拡充し、読書活動を推進します。

図書館では、大人向けの本だけではなく、子ども向けに、絵本、読みもの、紙芝居などさまざまな種類、分野の本を、本館と5つの分館合わせて、約10万冊取りそろえています。本をネットワークで結び、家庭の近くにある分館でも、読みたい本を検索し、取り寄せて利用することができます。

また、工作と組み合わせたおはなし会等を開催し、子どもたちが本に興味を持てるように工夫するとともに、子どもと本を結びつける役割を担うボランティアの養成や意識の向上を目指した研修会や講座等を開催し、子どもの読書推進に向けた環境整備にも取り組んでいます。

図書館における子どもの読書推進活動は、豊岡市立図書館ボランティア（以下「図書館ボランティア」という。）に支えられています。今後、新しいボランティアの人材の確保と育成が課題です。

学校との関係では、図書館から積極的に出向くなど、より一層学校との連携を推進していく必要があります。

<具体的な推進アクション>

① 図書の充実とネットワーク

推進内容	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちに出会わせたい本の情報収集と蔵書の充実に努めます。・利用の多い本は複数所蔵し、より多くの子どもたちに手渡せるよう努めます。・図書館ネットワークシステムを活用し、希望の本を迅速に子どもたちの手に届けられるよう本館と分館の連携強化を図ります。・相互利用を活用し、幅広い要望へも対応します。
効果	<ul style="list-style-type: none">・より多くの人の多様な要望へ、迅速に応えることができます。

* 相互利用 … 自館に所蔵のない資料を、他市町等の図書館から借り受け、相互に利用すること。

② ブックスタート

推進内容	<ul style="list-style-type: none">・7カ月健診の際に、健康増進課と連携し、図書館ボランティアの協力も得て、絵本のプレゼントと読み聞かせを実施します。・絵本選びのアドバイスを実施し、乳児期に適した絵本を紹介します。・保護者に読み聞かせの手法等を指導します。
効果	<ul style="list-style-type: none">・絵本を通じた赤ちゃんとのコミュニケーションの喜びを伝えます。・読み聞かせを実施し、赤ちゃんが絵本と出会い親しむ場を提供します。（以下、P2参照）

③おはなし会

<p>推進内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本館においては、図書館ボランティアの協力を得て、乳幼児・小学生を対象に、好奇心旺盛な子どもの心に応えられるよう、わらべうたや詩、工作等も織り交ぜて年齢別に楽しめる「おはなし会」を開催します。 ○おはなしのゆりかご…0歳から2歳と保護者対象 ○いっしょにおはなし会…3歳前後と保護者対象 ○おはなし会…4歳以上を対象 ○土曜としょかん…5歳以上を対象 ・分館においても工作等と組み合わせたおはなし会を定期的に開催します。 ○ほっぺとえほん・おはなしランド … 城崎分館 ○おはなしミック・にじっこ絵本・テーマであそぼ! … 竹野分館 ○絵本からのおくりもの … 日高分館 ○えほんのとびら … 出石分館 ○おはなしのもり … 但東分館
<p>効 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた読み聞かせ、ストーリーテリングを、工作やわらべうた等と組みあわせて行うことで、子どもたちに効果的におはなしの楽しさを伝えることができます。 ・経験、研修を積んだボランティアの協力により、子どもたちに絵本の楽しさを伝え、読書への橋渡しをします。

④団体貸出し

<p>推進内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、公民館、福祉施設など登録申請のあった団体へ、上限30冊、1カ月の本の貸出しを行います。(但し、公民館は、100冊を2カ月間) ・地域で活動するボランティア団体等へ、広く団体貸出しを勧めます。 ・学校における学習支援のため、図書館資料の活用を勧めます。
<p>効 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場所で、子どもたちが、幅広くより多様な本を楽しめるようになります。 ・図書館の資料が、効果的に学習に活用できます。

⑤派遣事業 (おはなしキャラバン、おはなしひろば、講師派遣)

<p>推進内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ボランティアの協力を得て、学校や公民館での訪問おはなし会に向き、読み聞かせやストーリーテリングを行います。 ・学校や公民館へ図書館専任講師を派遣し、保護者や地域住民に読み聞かせの効果、手法、意義や図書修理の実技について指導します。
<p>効 果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域で、子どもが本やおはなしに接することのできる機会を充実させます。 ・一人でも多くの伝え手となる大人に、子どもたちへの読み聞かせの大切さを伝えることができます。 ・新たなボランティアの人材確保が期待できます。

⑥ボランティアの育成と活用

推進内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動の推進のためにボランティアとの連携・協力を努めます。 ・ボランティアからより多くの子どもたちへ、本の楽しさを伝えてもらうとともに、保護者に対し、本についてのアドバイスを行います。 ・定期的な研修会を開催し、ボランティアの資質の向上を目指します。 ・図書館ボランティア要項を作成し、ボランティアの意識統一と活動強化を目指します。 ・学校図書館ボランティア、図書館ボランティアの連携が図れるように、こども教育課と連携して、情報共有、研修の機会を作ります。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの本と出会い、本の楽しさを熟知したボランティアの能力を、子どもの読書活動の推進のために発揮していただくことができます。 ・ボランティアに協力いただくことで、子どもたちへのサポート体制が充実します。 ・ボランティアの能力を活かすことで、生きがいに結びつきます。

⑦家庭支援

推進内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親から子への本選びのアドバイスを実施します。特に乳幼児期の本選びに重点を置いて推進します。 ・新しい家族のコミュニケーション手段である「家読（うちどく）」を、推進します。 ・とよおか家族の月間（10月）に「家庭での読書・家族での読書 家読（うちどく）」を推進する事業を展開します。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・家族のコミュニケーションを図りながら読書推進をすることができます。 ・家族みんなで本について語り、親子の思いを交流することで家族の絆が深まります。 ・子どもの心を育て、大人も心の豊かさを取り戻すことができます。

*家読（うちどく） … 「朝の読書」の家庭版として、読書を通して家族のコミュニケーションを深めることを目的とした新しい読書運動。家族みんなで同じ本を読み、読んだ本について語り合うことが基本ルールだが、豊岡市では「家族で本を楽しく読むこと」として位置づけている。

⑧子ども読書の日・全国読書週間の取組

推進内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に展開される4月23日の「子ども読書の日」、10月27日から11月9日にかけての「全国読書週間」にあわせて、一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなるような企画を実施します。 ・読書への関心を高めるため、地域団体と連携して子どもの読書活動に関するイベント「子ども読書まつり」「子ども読書講座」などを実施します。
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な取組の機会をとらえ、さまざまな企画で読書の楽しさを効果的に伝えることができます。

*子ども読書週間 … 子どもの読書活動の推進に関する法律により、4月23日と定められ、この日に「子どもの読書活動推進フォーラム」が開催され、読書活動優秀実践団体等に対して文部科学大臣表彰が授与されている。全国の公共図書館では、「子ども読書の日」またはその前後に子どもを対象とした読書に関するイベントなどが実施される。

*読書週間 … 昭和22年「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という目的に始まった。期間を10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定め、全国的な行事として扱った。読書週間が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されている。

⑨テーマ展示・事業実施

<p>推進内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにより良い本に出会ってもらうため、毎月テーマ展示を行い、見やすく手に取りやすい工夫をします。 ・「夏休み こんな本読んで」と題した図書館推薦図書一覧を作成し、小中学校全児童・生徒へ配布します。 ・冬休みに合わせ、各年齢別におすすめする本を「としょかん福袋」として貸出します。 ・継続的に実施している事業の効果を検証し、より親しみやすく参加しやすい事業実施を目指し、子どもと本が会う機会づくりに努めます。 ・「一日図書館員」等の事業を実施し、図書館への理解と親しみを深めます。 ・子どもたちへの読み聞かせの意義、方法等についてお話しいただく専門的な講師を招き、広く一般向けに講演会、研修会を企画・開催し、おはなしの楽しさを伝える大人のすそ野を広げられるよう努めます。
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力的なテーマ展示や事業を開催することで、子どもたちに本の魅力を効果的に伝えることができます。 ・子どもたちへの読み聞かせの意義を理解し、子どもの読書推進に協力いただく大人を増やすことができます。

⑩広報・啓発活動

<p>推進内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報の図書館専用ページ「レッツゴー図書館」を魅力的なページとなるように努め、毎月の事業案内をはじめ、積極的な情報発信に努めます。 ・毎月、図書館本館、分館は「機関紙（図書館だより）」を作成し、地域ごとの情報を詳しく発信します。 ・図書館のホームページでは、図書館の利用がしやすい情報、最新情報の発信に努め、より魅力的な構成により、閲覧者の増加を目指します。 ・多くの方に図書館の取組を知っていただけるように、図書館の施設、事業、年間事業等を紹介したパンフレットを作成します。
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな方法による広報活動を行うことで、より多くの子どもたちへ情報を届けることができます。 ・図書館の取組を知ってもらうことで、開催事業への利用者の拡大や、ボランティア活動への協力者の増加が期待できます。

⑪高校生コーナー

推進内容	<ul style="list-style-type: none">・「豊岡の高校生は豊岡で育てる」高校生応援事業の一環として、高校生のニーズに合った本、手にしてほしい本を集めたコーナーを設置します。・高校生の利用を促進するため、蔵書の充実に努めるとともに、高校生の意見を取り入れることのできる工夫をします。
効果	<ul style="list-style-type: none">・青年期の心を醸成し、学習や就職活動の支援につながります。・ニーズに合った本により、利用の拡大が図れるほか、高校生の夢の実現を応援することができます。

第3章 推進のための連携・協力

1 学校・家庭・地域・行政の連携・協力

学校や図書館をはじめ市内の関係機関で、子どもの読書活動を推進するための様々な取組を行っていますが、相互の情報を共有・交換する場が構築できていないため、十分な連携が図れていない現状があります。

本計画を推進していくためには、行政各担当部署や学校などの機関が中心となって家庭や地域との連携をすすめ、地域全体で取組んでいくことが重要です。そのためには、保護者や地域住民、ボランティア等の多様な経験を有する人材相互の交流を促すとともに、学校や行政との情報共有を、さらに強化する必要があります。

特に行政は、担当部署の役割を明確にして、それぞれが取組むべき事業について協議し、意識の統一と情報を共有し、連携するための体制づくりを行う必要があります。

また、本計画推進のための大きな力であるボランティアや各団体が実施する取組へのサポートや、新たな連携のコーディネートを積極的に行うとともに、各団体の活動内容を一層充実させるための支援や情報提供を行っていく必要があります。

さらに、本市のコウノトリが舞う豊かな環境を生かした自然・農業等の実体験と読書活動を連携させた新たな事業を展開することは、体験的・探究的な学習の充実や地域と密着した子どもの読書活動の推進につながり、新たに検討すべき視点だと考えます。

すでに第2章で記載した事業のほか、放課後児童クラブでのおはなし会、図書館職員が学校に出向いての利用案内の実施、子どもの読書活動を推進する機関、団体との意見交換会や研修会の開催など、一層連携を強化・充実させていく方策を実践していく必要があります。

2 広報・啓発活動等の推進

子どもの読書活動に関する理解を深め関心を高めるためには、家庭・地域・学校における子どもの読書活動の意義や必要性について、広く啓発活動を行うとともに、実施する施策、事業についてPRしていく必要があります。

そのため、「国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため」に定められた「子ども読書の日」（4月23日）や読書週間（10月27日から11月9日）など様々な機会をとらえ、子どもだけでなく大人に対しても、読書の大切さについて理解が得られるよう効果的な普及啓発事業や読書活動を実施するとともに、各種媒体を通じた情報発信を積極的に行います。